

例会報告：2013年6月11日（曇り）第1801回 通常例会

❖ ビジター

奥山 恵子様 (小田原北RC)
千村 憲一様 (足柄RC)

❖ 会員誕生日

志澤 昌彦さん (6月11日)
鈴木 友徳さん (6月15日)

❖ 奥様誕生日

木村 千鶴江さん (6月12日)
須賀 和代さん (6月15日)
櫻井 泰代さん (6月15日)

❖ ニコニコ箱

鈕持 悟委員

| | ニコニコ箱 | 累計 | 目標 |
|--------|--------|-----------|-----------|
| 6月11日分 | 20,500 | 1,003,540 | 1,300,000 |

*ビジター

奥山 恵子様 (小田原北RC) …こんにちは、おじゃまします。
千村 憲一様 (足柄RC) …久しぶりに、お世話になります。

*会員誕生日

志澤 昌彦さん…誕生日のお祝いありがとうございます。また1つ年をとってしまいました。

*奥様誕生日

須賀 俊和さん…妻の誕生日祝い大変ありがとうございます。苦勞ばかりかけておりますが健康なのがなによりです。

*その他

次年度執行部…4月21日に開催された地区協のバス代の精算がやっと終わりました。余裕がありましたのでニコニコします。

鈴木 友徳さん…出雲大社のセングウに行って来ました。

大木 清さん…急用ができて、途中退席します。

西 寛さん…商用と重なり、欠席が続いてしまいました。出席委員会の方々へはご迷惑をかけます。

久保田 知子さん…*先週のゴルフコンペで久々に80台でまわりました。ドラコンも頂きましたので。*元メンバーの中津川一春さんより預かって参りました。RCゴルフコンペに久々に参加させていただき優勝致しました。今後共よろしくお願ひ致します。

鈕持 悟さん…6月5日のコンペで3位に入り、フォーカスも頂きましたので。

■ ■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■ ■

-2013年6月-

- ▶19日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:会員卓話」
- ▶20日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:担当理事1年を振り返って」
- ▶21日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員卓話」

足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:クラブ協議会」

▶22日(土) 小田原城北RAC J'DORIES 18:30
「卓話:納会&卒業式」

▶24日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話:クラブ協議会/執行部今期事業報告」

▶25日(火) 箱根 龍宮殿 18:00 M.U.受付なし
「卓話:年度末親睦会」

▶26日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:最終例会・クラブ協議会」

▶27日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:クラブフォーラム・執行部1年を振り返って」

▶28日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:クラブ協議会」

足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:事務引継・クラブ管理委員会担当」

※以降、各クラブ新年度の予定が確定しましたら掲載いたします。

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電 話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創 立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例 会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監 修：久保田 知子
編集長：須賀 俊和
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：須藤 公司・小楠 雅昭

会員数：49名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2012-2013
WEEKLY BULLETIN



【R. I. 会長】
田中 作次
【R.I. 2780地区ガバナー】
菅原 光志
【第9グループガバナー補佐】
鈴木 悌介



【会 長】小嶋 章司
【副会長】中野 明
【幹 事】久保田 知子
【副幹事】大川 久弥
【会場監督】清 康夫

奉仕を通じて平和を PEACE THROUGH SERVICE

本日の例会：通常例会（第1802回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2013年6月18日 12:30～13:30
司会：大川 久弥 副幹事

| | |
|-------|--|
| 12:30 | 開会点鐘：小嶋 章司 会長 ローターソング斉唱 「手に手つないで」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱 |
| 13:00 | 担当：プログラム委員会 卓話：中野 明GSE団長・木村なおみGSE団員 「GSE帰国報告」 |
| 13:30 | 閉会点鐘：小嶋 章司 会長 |

MEMO

今見つめ直そう不易なるものと流行

【今後の例会・卓話スケジュール】

6月25日 通常例会(クラブ協議会) 12:30

担当：執行部
卓話：執行部
「未定」

7月2日 年初例会(クラブ協議会) 15:00～20:00

会場：報徳会館
担当：執行部・会場監督・(懇親会:親睦委員会)
年初例会:15:00～15:40
会計報告:15:50～16:00
クラブ協議会:16:00～18:00
懇親会:18:10～20:00
井島AGはクラブ協議会から・小田原北RCと足柄RC両会長幹事は懇親会から・小田原城北RAC会長も懇親会から出席

7月9日 通常例会 12:30

担当：露木清勝会長
卓話：諏訪陽子様・
元青少年交換留学(2007～2008)
「未定」



7月16日 通常例会(クラブ協議会)

12:30
担当：プログラム委員会
卓話：帝国データバンク横浜支店長 (予定)
「県内の企業状況や来年度の景気予測について」



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

例会報告：2013年6月11日（曇り）第1801回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:00

❖ 会長挨拶

「ペコロスの母に会いに行く」

小嶋 章司 会長



62才の漫画家・岡野雄一さんが描いた「ペコロスの母に会いに行く」が評判良いと聞き、本屋に行ったら一ヶ月待ちでした。

自分の母親みつえさん（89才）の

認知症とのおかしくも切ない日々を漫画を通じて、介護の大変さを伝えています。ペコロスとは（小さいたまねぎ）というのだそうです。長崎生まれの漫画家ですのすべて長崎弁で描かれています。

注がついていますがたとえば

「ごたるーようだ」

「ばってんーけれど」

「なかとやけんーないのだから」

岡野さんは認知症の母に毎日会いに行っているのですが、日によって息子の自分をわからないときがあるそうです。その時頭を出すと、つるつるの禿頭をさわって「おお雄一良く来たなー」ってわかるそうです。その禿げた頭が小さなたまねぎに似ているので、ペコロスと名付けたそうです。

読んでいて一番感動したのは、「さっき父ちゃんが訪ねて来たばい。なあーユウイチ私がぼけたけん父ちゃんが現れたとならボケるとも悪かことばかりじゃなかかもしれん」とうちゃんつまりご主人はとっくに亡くなっているのです。

先日電話で岡野さんと話したんですがこんなことを言っていました。父が亡くなった年に母のボケが始まりました。その頃はまだ、介護・認知症という言葉が今ほど一般的でなく、僕はただ「少しずつ忘れていく母」との日常をおもしろ・おかしく淡々と書き留めているだけでした。

介護にたずさわれる方々からの暖かい共感の言葉は実はとても以外でした。父の遺族年金を元に母を施設に預けている自分は、介護という言葉は縁遠く恐れ多いと思っていたからです。

「母に会いに行く」というタイトルもその気持ちを込めています。でも今は、この本が介護をする人達の気持ちに寄り添い少しでもいやしになれるよう祈り願っています。

「忘れると言うことは悪いことばかりではない」母を見ていてそう思います。児童向きの本や漫画の中には大人が忘れかけた心温まる話が沢山ありますね。

❖ 出席報告

安藤 克己委員長

| 出席報告 | 会員数 | 出席 | M.U | 出席率 |
|-------|--------|----|-----|--------|
| 6月11日 | 49(47) | 40 | 0 | 85.11% |
| 6月4日 | 49(46) | 40 | 0 | 86.96% |
| 5月28日 | 49(48) | 37 | 1 | 81.25% |

【欠席者】 7名

櫻井 康二、石橋 徹、辻村 彰秀、須藤 公司、上田 博和、木村 啓滋、石内 正彦

【今回MU】 0名

【前回MU】 増加なし

【前々回MU】 増加なし

❖ 委員会報告

金山慶昭次年度幹事

規定審議会の件ですが、3年に1回シカゴで行われている規定審議会の報告ということで、昨日露木会長と私で藤沢に行っていました。適応が7月1日からということで色々となりましたが、RIでこれを書き直したりとか、英文を日本語に直したりとかありますので、暮れをめどにやっということに決まりました。

❖ Table Flower

- アジサイ
- アゲラタム
- カンパニュラ

アジサイの花言葉は「移り気」「高慢」

アゲラタムの花言葉は「信頼」「幸せを得る」

カンパニュラの花言葉は「感謝」「誠実」



❖ 卓話

「現状におけるボーイスカウト」

日本ボーイスカウト神奈川連盟
松陰 弘一様



ボーイスカウトは人助けをしていくということで、良い社会人になるための準備をするということです。それにはやはり、ロープ結びですとか、救急法だとか、野営など、社会人になった時に一番役に立つということで学びます。

学校で先生が生徒を池に連れて行き、おたまじゃくしや、やごを取らせたそうです。そして子供

たちは喜んで家に持って帰っていったそうなのですが、しかし親からは「こんな汚いものを家に持って来させないでください」という苦情がきたそうです。次からは、先生がおたまじゃくしと虫を取って、綺麗な水の中に入れて子どもたちに持たせたということです。やはり教育現場としては、最近はお父さん、お母さん方が中々うるさいのではないかなと思います。

ボーイスカウトの現状としては、泥んこになって遊ぶ、遊ばせるという中から危険だとか、命の大切さとかを学ぶ事がボーイスカウトの野外活動なのです。ですので、今の子どもたちは3間（足りない時間・仲間・空間）が少ないようです。

私たちのボーイスカウトの地区の現状では、人数は減る一方です。少子化のせいもあるのですが、子どもはいらっしやるのです。ですがボーイスカウトは、一般の生活では逆な方向を求めているのです。私の隊長が良く言いましたが、現在の文化生活に慣れている。だから野外活動を通して、文化生活の慣れを無くす解毒剤だというつもりで子どもに接していこうと言われました。

今キャンプで野営をするのにお母さん方は、トイレは大丈夫ですね。蚊のいない所でして下さい。水は大丈夫ですか。うちの子は汗っかきだから扇風機を持って行っていいですか。などめっちゃくちゃな意見が出ます。やはり、お風呂にも入れない状況の時にどうしたらいいのかということで、皆でお湯を沸かして体を拭くなどして、家ではお風呂なんか嫌だよと言っている子どもが、家に帰ってお風呂に入って良かったなど、普段気付かなかった事が、体を使う事によって感じる事が良いと思います。

キャンプに行ったらリーダーとしては、お腹を壊さないように、麦茶を沸かして飲ませていますが、現在集会に来る子どもたちの水筒はスポーツドリンクとかジュースなどを持ってきます。我々の時代はそういうものがない

ので水でした。

水は目にゴミが入ったとか、けがをしたとかいう時にすぐに使えます。それも一つの利用方法でした。ところが、スポーツドリンクですと、けがをした時など用をなさないので。そして子供が少ないため、掛け持ちをしている子が多くなっています。野球をしてバスケもしたりなど、天秤にかけて自分が行きたい所へ行くなどしているようです。

キャンプでは何にも無い所ですので、無いからどうしたら良いかを子供なりに考えて想像する。野営に連れて行きますと、マニュアルはございませんので、隊長の指導によって仲間ですら良いかを考えながら、お互いに助け合って野営を続けるのです。

ロータリーにも奉仕という事がありますが、ボーイスカウトにも

1、神と国とに誠を尽くしおきてを守ります。

1、いつも、他の人々をたすけます。

1、からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。といった3つの誓いがあります。この誓いの為に敬礼を3本でします。これを分かりやすく説明しているのが、初代総長の後藤新平さんが自治三訣と言っております。

とにかく私たちは社会人になった時に人助けができるように、少しでも技能を身につけてお役にたてるようになるための準備をする段階であるのです。ボーイスカウトの前にはビーバースカウトやカブスカウトなど年齢に応じた進級科目があります。しかし技能を身につけるボーイスカウトの年齢になると、受験が始まる時期になりますので中々出て来られない子が増えてしまい、ボーイスカウトも少なくなっております。今年は第16回日本ジャンボリーというのが開催されます。ジャンボリーというのは4年に1回ある大会で、小田原地区でも40名の個団が結成し、活動に入っております。私たちは子どもたちを良い社会人にするため、青少年を育てるために責任を感じて活動しております。しかし、子どもたちが少ないものですので、お孫さんや知り合いのお子さんがいらっしやいましたら、次の世代の子どものために募集のご協力をお願いしたいと思います。

